

平成 16 年 11 月 19 日

応用物理学会北海道支部
会員各位

応用物理学会北海道支部

講演会のお知らせ

下記講演会を開催いたしますので、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

演題：江戸期における光の科学・技術の二，三の話題

講師：藤原裕文 氏

（室蘭工業大学工学部 教授 ）

日時：平成 16 年 12 月 16 日（木） 10：30～12：00

場所：北海道大学工学部 B 31（階段教室）

主催：応用物理学会北海道支部

講演の要旨

『解体新書』の「眼目編」の翻訳により，光の科学への関心が高まった．のちに，各種の視学諸器や眼による結像は幾何光学を基礎にして論じられるようになったが，定性的な説明の域を越えることはなかった．一方，幕府天文方による改暦や全日本地図作成に際して，精確さを期するため，最新の天文学の知識や観測技術，三角関数，対数，幾何学などの知識が総動員された．江戸時代の人たちが光の科学・技術を受容していった過程を 2，3 紹介する．

世話人 田中啓司

量子物理工学専攻

電話：011-706-6630 keiji@eng.hokudai.ac.jp